



作品名 **勇士達の顔**
Yushi-Tachino-Kao
作者 宮本 治 MIYAMOTO Osamu
寸法 80(幅)×70(奥)×180(高さ)cm
展示場所 後山公園

■作家歴
1955大阪生まれ
愛知県立芸術大学大学院研修科修了
東京都立美術館、名古屋、豊橋で個展多数
第46回三重県展(最優秀賞)
「Asian Art Now」ラスベガス市立美術館(優秀賞)

■コメント
この作品は、私が県立芸術大学在学中から卒業までの間につくったものです。そのとき、同じように彫刻している仲間がいました。男も女も含めて、一心に仕事をしている姿を、女の人の体を借りて、意志の強さを表現しようと思いました。まずモデルさんを見ながら三分の一ぐらいの原型をねんどでつくり、それを石こうに置き換え、その後、三倍の大きさに拡大する形で石を彫り進めて制作しました。



作品名 **静かな時**
Silent Time
作者 加納 秀美 KANO Hidemi
寸法 60(幅)×50(奥)×165(高さ)cm
展示場所 段の上公園

■作家歴
現在 国画会会員

■コメント
この頃、一人である・一人になることを強く感じ、それがだんだん心地よく感じる様になった。アトリエで制作している時、あたりが静まりかえった時、より心地よく感じていた。その時の己の気持ちと自然の造形との関わりを求めてできた作品です。



作品名 **ライオンゲート**
寸法 100(幅)×40(奥)×60(高さ)cm
展示場所 石田橋

■コメント
1992年10月に長久手町はワテルロー市(ベルギー)と姉妹都市提携を結びました。石田橋の両端にあるライオンは、ワテルロー古戦場にある幅4.5m、奥行2.1m、高さ4.45mのライオンを縮小したものです。
ワテルローのライオンは、戦場に残された武器を鋳造しなおして作られたもので、作家はレイ・ヴァン・ゲール(ベルギー、メッヘレン市)です。28トンもあるライオンは、リエージュのコリクル製鉄会社で作られ、蒸気船でミュージ川をのぼり、陸路は20頭だての荷馬車にひかれてワテルロー古戦場に運ばれました。そして、ライオンを乗せるために丘の中心にレンガの柱が埋め込まれ、その上に4.5mの高さの基礎石、更にその上に高さ7mの台石が置かれました。ライオンは、右足を聖なる連合ヨーロッパを象徴する地球儀の上に載せ、半日の戦いで約5万人もの負傷兵と戦死兵を出した戦場を睨んでいます。